

3月の図書館イベント

中央図書館映画上映会(入場無料)

『麦の穂をゆらす風』(吹替)

<上映時間: 126 分>

●日時 10日(金) 開場18:30 上映19:00~

●場所 穂高交流学习センター「みらい」
多目的交流ホール

ドキドキ・ワクワクおはなし会

◇ 中央図書館

おはなしのとびら おはなしのへや

1・8・15・22・29日(各水曜日)

10:30~(乳幼児以上対象)

おはなしとしゃかん おはなしのへや

18日(土) 10:30~(乳幼児以上対象)

◇ 豊科図書館

ちいさいたんぼぼ 多目的室

10日(金) 11:00~(乳幼児対象)

おはなしたんぼぼ 多目的室

10日(金) 16:30~(幼児以上対象)

◇ 三郷図書館

ポケットの会 三郷文化公園体育館1階会議室

11日(土) 10:30~(乳幼児以上対象)

◇ 堀金図書館

おはなしのへや 絵本コーナー

14日(火) 10:30~(乳幼児以上対象)

16:30~(幼児以上対象)

おりがみのへや 絵本コーナー

22日(水) 16:30~

豊科郷土博物館 企画展
安曇野市レッドデータ展Ⅱ
失われゆく植物たち

TEL 72・5672 FAX 72・7772
豊科郷土博物館

レッドデータ展の第2弾として植物をテーマにした企画展です。豊かな自然を誇る安曇野市ですが、自然環境は変化し続けています。絶滅危惧種の植物はどこに暮らしているのでしょうか。安曇野の植物について、さまざまなテーマで紹介します。

●日時 3月4日(土)~4月9日(日) 午前9時~午後5時

●場所 郷土博物館 2階展示室

●展示内容 ▽絶滅危惧種の植物たちとその生育環境 ▽安曇野にゆかりのある種名がつけられた植物たち ▽受け継がれる植物標本 ▽市内における自然に関わる活動の紹介等

●入館料 大人 100(80)円

(一)内は20人以上の団体料金、中学生以下・市内在住の70歳以上の人は無料

●休館日 月曜日(月曜日が祝日)



の場合は翌日)

企画展関連イベント参加者募集
自然講座1

安曇野の自然の魅力・北アルプス常念山脈とその山麓一帯で出あった植物たち

●日時 3月4日(土) 午前9時30分~11時

●講師 橋渡勝也さん(市教育長)
●申し込み 2月21日(火)~3月3日(金) までに郷土博物館へ電話で申し込みください。

自然講座2

生きものたちが歩んできたはるかなる道を探る・植物系統地理という世界

●日時 3月18日(土) 午前9時30分~11時30分

●講師 東城幸治さん(信州大学理学部)、津田吉晃さん(筑波大学菅平実験センター)

●申し込み 2月21日(火)~3月17日(金) までに博物館へ電話で申し込みください。

【自然講座共通事項】

●場所 郷土博物館 2階学習室

●参加費 無料(入館料が必要です)

●定員 50人(先着順)

早春の野鳥観察会

●日時 3月25日(土) 午前9時

11時30分

●場所 早春賦の碑・三角島周辺

●講師 丸山隆さん(前信州野鳥の会会長)

●定員 20人(先着順)

●参加費 150円(保険料等)

●申し込み 2月21日(火)~3月22日(水) までに博物館へ電話で申し込みください。



中央図書館
大人のための朗読会

TEL 84・0111 FAX 84・0116
中央図書館

小説やエッセイ、詩などさまざまなジャンルから朗読します。

●日時 3月11日(土) 午後1時30分~3時

●場所 穂高交流学习センター「みらい」多目的交流ホール

●朗読 中央図書館朗読協力者の皆さん

●対象 一般(中学生以上)

●定員 100人

●申し込み 不要(直接会場にお越しください)

は、午前10時~午後6時)

明科図書館
やよい3月おはなし会

TEL 62・1122 FAX 62・1124
明科図書館

絵本や紙芝居、手あそびで楽しいひと時を過ごしましょう。大人も子どもも楽しめる内容です。

●日時 3月11日(土) 午前11時~正午

●場所 明科子どもと大人の交流学习施設「ひまわり」2階ハーマニーホール

●対象 乳幼児、小学生以上(乳幼児は保護者同伴)

●参加費 無料

●定員 60人(先着順)

●申し込み 不要(直接会場にお越しください)

再発見! 安曇野の文化 その59

文化課文化財保護係
TEL 71・2464 FAX 71・2338

文化財を守れ! 防火訓練の様子

1月26日は、文化財防火デーです。市内では、この日の前後に2件の国指定重要文化財「松尾寺本堂」「曽根原家住宅」をはじめとした文化財の防火訓練が行われました。

松尾寺での訓練は、1月24日に、松尾寺の住職と家族、檀家の皆さんが集まり、消防署の指導の下で行われました。文化財本体である本堂から出火した仮定のもと、「火事だ! 火事だ!」と大きな声で周囲に知らせ、実際に119番へ通報しました。そして火元に見立てた目印へ消火器から消火剤を噴き付け、初期消火の流れをしっかりと確認しました。

しかし、火事になったとき訓練の参加者が集まれるとは限りません。市にはこの他にもたくさん文化財があります。ふるさとの文化財を守るために、常日頃から市民の皆さんの心配りと協力をお願いします。



消防署員の説明を聞く参加者

おすすめの1冊

命をつなげ! ドクターヘリ

岩貞 るみこ/作



紹介する人 ゆいきさん
百瀬 唯希さん
(堀金小2年)

僕が紹介するのは、ドクターヘリでの救助の様子を書いた「命をつなげ! ドクターヘリ」です。

ドクターヘリは、ケガや病気の患者を迎えに行き、病院まで運びます。でも、ドクターヘリ1台だけでは患者を助けることができません。救急隊や消防隊、ドクターヘリの中の機長、整備士、運行管理などいろいろな人の力があって助けることができます。

ドクターヘリに乗っている人たちは、お昼ご飯を食べている時間が全然ないところが大変だと思いました。また、ドクターヘリは狭いところでも着陸出来るように、小さく作られていて、ヘリの中が必要な機械で埋め尽くされているところが大変だと思いました。

ぜひこの本を読んでケガをするとかくさんの人たちが、その人を助けるために頑張っていることを知って欲しいです。